

令和8年度琴清苑事業計画・収支予算(抜粋)

I 基本方針

今年度は「ケアの質の向上」と「業務の効率化」を両立させ、各職員が専門性を最大限に発揮できる環境を構築します。介護ソフト(ワイズマン)の本格運用による情報の一元化と、記録業務の負担軽減を図り、多職種連携の深化として介護・看護・機能訓練・栄養がソフト上で共有することにより、即時性の高いケアの実現を目指します。また、安定した施設運営のため稼働率97%以上の維持を目標とし、月2回の入所調整会議の実施と、医療機関・地域への積極的な情報発信や情報収集により、空床期間を最小限に抑えていきます。

コストマネジメントとしては食材料費や光熱費の高騰に対する補助金の活用と、随時献立の見直しや省エネ活動を推進し、健全な収支バランスを維持します。キャリアパス要件として全職員の面談を実施し、グローバルなスタッフを含む個々の意向把握と成長支援を行います。

人員不足に対しても職員の意向を汲み取り、積極的な採用計画を検討・実施し安定した人材確保にも努めていきます。

1 重点目標

(1) 稼働率の最大化と適正管理

- ・稼働率97%以上の維持
- ・入所調整会議を月2回開催、空床期間を最小限に抑えたベッドコントロール。
- ・医療機関や居宅支援事業所との連携を密にし、待機者情報の鮮度を保つ。
- ・入所申し込みツール等の積極的な活用。
- ・外部研修への参加、ブロック会からの地域情報の収集、把握。

(2) サービスの質と効率の両立

- ・ゆとりある現場の構築・質の高いケア。
- ・2階・3階のフロア異動により職員の能力の均一化を図る。
- ・効率化で生み出した時間を直接ケアに充てる。

(3) 法人理念である「心の福祉」の実践

- ・利用者の安心、安全の確保。
 - ・質の高いサービスの提供、介護職員の確保、キャリアアップ。
 - ・身体拘束ゼロの継続と、利用者の自己決定を支える生活支援の徹底。

2 地域福祉サービス計画

- ・自然災害発生時の福祉避難所としての地域交流スペースの開放、また、必要時相互援助協定に基づいた給食の提供。
- ・災害や感染症発生時でも運営を止めないよう、備蓄管理とシミュレーション訓練を定期的実施する。

※ 詳細は事業計画書をご一読ください。

資金収支計算書(当初予算)		
	勘定科目	琴清苑会計
事業活動	事業活動収入計①	433,618,000
	事業活動支出計②	411,910,000
	事業活動資金収支差額③(①－②)	21,708,000
施設整備等	施設整備等収入計④	0
	施設整備等支出計⑤	18,708,000
	施設整備等資金収支差額⑥(④－⑤)	-18,708,000
その他の活動	その他の活動による収入計⑦	2,000,000
	その他の活動による支出計⑧	5,000,000
	その他の活動資金収支差額⑨(⑦－⑧)	-3,000,000
	予備費支出⑩	0
	当期資金収支差額合計⑪(③＋⑥＋⑨－⑩)	0
	前期末支払資金残高⑫	169,395,693
	当期末支払資金残高⑬(⑪＋⑫)	169,395,693